

# グラウンド・ゴルフは元気の源

### 勝山グラウンド・ゴルフ協会



勝山グラウンド・ゴルフ協会の皆さん=いずれも勝山千代田緑地公園で ※撮影時のみマスク非着用

勝山橋の左岸、九頭竜川河川敷に広がる勝山千代田緑地公園。ここで雄大な山々や九頭竜川を眺めながら、毎日午前8時30から2時間ほどグラウンド・ゴルフを楽しむ。25年ほど前に発足し、勝山市に住む60〜90代の男女約60人が所属。平均年齢74歳を全く感じさせない、元気なプレーが光る。

グラウンド・ゴルフは、球を追いかけながらプレーしていると、気が付かないうちにたくさん歩き、自然と健康増進につながるスポーツ。15年ほど続けているという90代の女性は「和氣合いと、仲間の顔を見ながらプレーするのが楽しい。芝の上は歩くのが楽ということもあるが、ここに来る

と家にいるより元気になるから不思議」と、張りのある表情で話す。

コロナ禍の影響で、主要な大会は軒並み中止が続いているが、「少しでも目標がある方がいい」と自分たちだけで大会を開くなど、感染予防に気を配りながら工夫を凝らす。

河川敷のグラウンド・ゴルフ場は、勝山市の所有地を同協会が管理する形で使用。会長の北川恒夫さん(83)は「グラウンド・ゴルフ専用の常設ホールが48もあるのは、県内どこか」と誇らしげに話す。自分たちで購入した芝刈り機を使い、きれいに整えている。敷地が広大なため、芝刈りは大変だが「みんなが楽しく遊ぶように」と力を合わせている。仲間との絆や触

れ合いを大切にすることで、活動は長く続いている。悩みは会員の高齢化と減少だ。メンバーらは「スポーツ経験がない人でも気軽に始められるのがグラウンド・ゴルフの魅力。ぜひ一度やってみて」と参加を呼び掛ける。



自分たちで購入した芝刈り機で、広大な芝生を整える北川会長

# 秋の越前観光は「紫ゆかりの館」から



紫ゆかりの館の越前和紙人形は必見

世界最古の物語として知られる「源氏物語」。作者の紫式部が、唯一京を離れて暮らした地が、越前市(旧武生市)であることをご存知だろうか。武生には越前国の中心、国府が置かれ、紫式部の父藤原為時が越前守(今でいう県知事に相当)に任命された際、同行したためである。紫式部が「源氏物語」を創作する前のことだった。

今年4月、紫式部公園の西側にオープンした「紫ゆかりの館」は、紫式部と

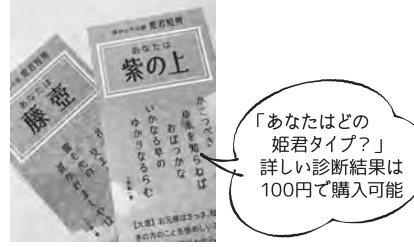
そのほか、主に丹南地域の観光案内、

「源氏物語」、越前国府との関わりを分かりやすく紹介する資料館だ。

入ってすぐ目に留まるのは、日本民俗衣裳源流会の手による紫式部和紙人形の展示だ。御簾(みず)越しを見ると、まるでそこに紫式部がいるかのようになりリアルさ。また、越前へ下向する際の心情を詠んだ歌や、越前ででの生活の様子は壁面・床面スクリーンの色彩豊かな映像で垣間見ることができる。さらにタッチパネルの質問に「はい、いいえ」で答えると、「源氏物語」の中の女性登場人物に近いかを診断してくれるコーナーも洒落つて楽しい。

資料館正面の「出逢いの庭」では四季折々の草花と共に、「源氏物語」の登場人物、葵の上に関連する山野草「フタバアオイ」が植栽されており、苗を1株600円で購入できるなど、紫式部と「源氏物語」の世界を堪能できる工夫が随所に凝らされている。

そのほか、主に丹南地域の観光案内、



「あなたはどの姫君タイプ?」詳しい診断結果は100円で購入可能

物販スペースも充実。越前焼のカップや越前打刃物など、地場の伝統工芸品がそろそろ。秋の越前観光はここからのスタートを提案したい。

なお10月23日(土)・24日(日)には「えちぜん紫式部まつり」が開催予定。同館では24日(日)に「洋菓子JUN」(越前市平出)の限定スイーツの販売や、越前和紙を使ったペーパークラフトのワークショップが開催予定だ。

詳しくは「えちぜん紫式部まつり」検索



# 肌に優しい「洗えるシルクマスク」



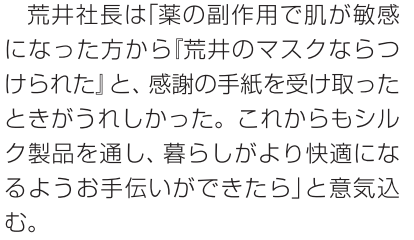
写真は社長の荒井さん(軽くて薄いつタイプのLサイズ着用)

高級羽二重生地を使った、かっちりしっかりタイプと、サラツツとした質感が特徴のシルクシフォン生地を使った、薄くて軽いタイプの2タイプがあり、現在までに計約1万枚を売り上げる。

同社社長の荒井章宏さん(44)によれば、天然素材のシルクは吸湿性と放湿性に優れ、肌トラブルに悩む人に最適な繊維という。現在の主力商品である薄くて軽いタイプに使うシルクシフォン生地は、縮みやすい特性がある。さらにマスクは肌や口元に直接触れるもの。試行錯誤の末、化学薬品を使うことなく縮みにくい特殊加工を施し、洗っても型崩れしにくいマスクに仕上げた。さらに注目は裏地に施した十字の縫い込みだ。呼吸したときの生地の吸い込みを防ぎ、長時間の着用でも快適に過ごせる。また、内部に不織布高密度フィルターを縫い合わせ、集塵性を高めている。

荒井社長は「薬の副作用で肌が敏感になった方から「荒井のマスク」ならつけられた」と、感謝の手紙を受け取ったときがうれしかった。これからもシルク製品を通じ、暮らしがより快適になるようお手伝いができたら」と意気込む。

両タイプともに、M(約14.5×約17.5)・L(約14.5×約19.5)サイズを用意。価格は全て1,980円。シルク製のため洗濯は手洗い。購入は同社オンラインショップのほか、同市東京にある会社でも1枚から可能。



荒井シルク

- 〒925-0212 越前市文京1-42-4
- TEL 0776-24-0630
- 午前9時～午後5時
- 土曜・日曜・祝日
- ※ホームページで情報発信中



# あれは何? 永平寺町で見つけた気になる工房

勝山街道沿いのその建物が何であるか外観からはわからない。地元の人でも何をしているところか知る人は少ないという。玄関には「工房オッジ」の文字。そもそもオッジとはどういう意味?



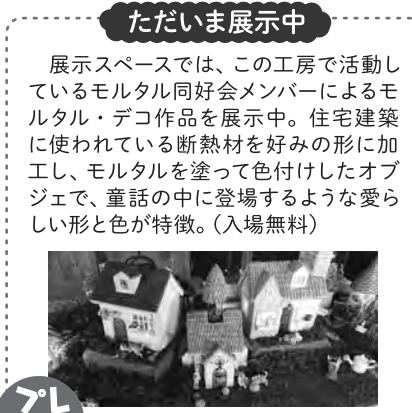
オッジ(oggi)はイタリア語で、「今日」という意味。オーナーが内装の会社を退職したのをきっかけに作った工房で、オープンして3年目になる。「自分好みのライフスタイル・デザインで、心豊かに、今日を暮らしましょう」とオッジと名付けたそう。

元々織物工場だったのを、柱がない広々とした間取りを生かしてリメイクした。輸入壁紙を中心に特色のある和紙などを使用し、オンリーワンにして生かしたいと、職場で重ねた経験やデザイナーたちとの交流で培われたセンスを発揮して、さまざまな活用法を提案している。展示スペースには、輸入壁紙のハイセンスなデザインを生かしたアートパネルや小物雑貨が並んでいる。北欧調のデザインや今では販売されていない珍しい壁紙、装飾シールなども多くあり、中には「破格」で販売さ



工房内の展示スペース

れているものも。生活を彩るヒントが詰まった、雑貨好きの女性には見逃せない穴場スポットだ。素材の持ち味を生かして、ギフトボックス作りなどのワークショップも開催可能。工房や作品発表の場としての利用も条件が合えば可能なので、興味を持ったら訪ねてみては。

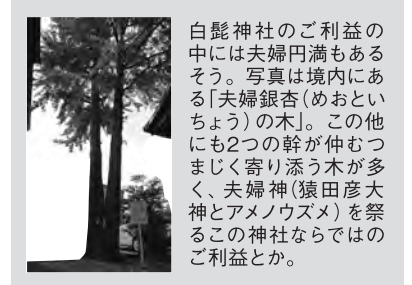


ただいま展示中

**工房オッジ**

- 〒925-0216 永平寺町牧野28-4
- TEL 090-2126-3085
- 午前10時～午後1時
- 土曜・日曜・祝日
- ※訪問する場合は電話で確認するのが確実。休みでも要望があれば対応可能。
- 約10台 インスタグラム yukiyuri.15
- ※えちぜん鉄道 越前中野駅下車徒歩10分

福井市勝見2丁目の白髭神社では、参拝の前に手や口を清める手水(てみず)舎で、水盤を花で飾る「花手水」を行っている。今年から始めた取り組みで、暑さで花が持たないことから、7月から休止していたが9月から再開。水盤を埋め尽くした色とりどりの花が参拝者を迎え、楽しませてくれると好評だ。宮司の榎原茂樹さんは、「新型コロナウイルスの感染防止対策の一つとして、柄杓(ひしゃく)を使うことを控えてもらう代わりに花を飾りました。花の持つ力で心を清めていただきたい」と説明。花生けを担当している、福井市江端町の生花店「はな里」の西川七恵さんは「季節感を大切にして、場所にふさわしい花を、日持ちの良さも考慮しながら選んでいます」と話し、「この神社は、コロナ禍で大変な時期に結婚式を挙げさせていただいた大切な場所なので、声を掛けていただいたご縁に感謝して生けています」と思いを語ってくれた。花の生け替えは毎月月初めだが、生けた後もメンテナンスを欠かさず行っている。コロナ禍で行き場を失ったり、売れ残って廃棄されたりする「フラワーロス」も活用し、花の命を生かせるよう努めている。翌月までの間に、花手水の景色が徐々に変わっていくのも楽しみの一つ。華やかで清らかな力が、コロナ禍で疲弊した心も癒やしてくれよう。また、新型コロナウイルスの感染防止対策の一つとして、柄杓(ひしゃく)を使うことを控えてもらう代わりに花を飾りました。花の持つ力で心を清めていただきたい」と説明。花生けを担当している、福井市江端町の生花店「はな里」の西川七恵さんは「季節感を大切にして、場所にふさわしい花を、日持ちの良さも考慮しながら選んでいます」と話し、「こ



白髭神社のご利益の中には夫婦円満もあるそう。写真は境内にある「夫婦銀杏(めおといまごい)の木」。この他にも2つのお杉が伸びまくる、夫婦神(猿田彦大神とアムノズメ)を祭るこの神社ならではの利益とか。

※価格はすべて税込み

個人情報保護法 さんぽみちではお客様に記入いただいた個人情報は、さんぽみちにお住まいの地域の販売店において適切に管理し、プレゼントのお届けなどに利用させていただきます。

## お知らせ伝言板

三本日和 開店5周年記念 第3弾 青山 円 個展「眺める」10月21日(木)～11月3日(水・祝)



北陸のいいもの+暮らしの道具 **三本日和 sanbon biyori**

- 〒927-92-0301 坂井市三國町北本町4-4-16
- TEL 0776-92-0301
- 午前11時～午後5時
- 水曜日 ※11月3日(水・祝)は営業
- なし。三國無料駐車場を利用

## あつたか塾 参加者募集

### ペーパークラフト教室

日時 10月23日(土)

午前部 午前10時～正午

午後部 午後1～3時

場所 JR福井駅西口ハピリン2階の福福小屋

参加費 500円

対象 小学4年生以上

定員 各部15人(先着順)

講師 内藤秀信さん(ペーパークラフトモデラー)



主催: 日刊県民福井・中日新聞社

共催: 福井市観光物産館福福館

問い合わせ・申し込み先

日刊県民福井事業グループ ☎0776-28-8618 (平日 午前10時～午後6時)

## 茶殻の活用レシピ

緑茶を飲んだ後の茶殻(出がらし)、筆者は毎回捨てていたが、皆さんはどうしているだろうか? 緑茶の成分として知られるカテキンなどは水に溶けるため、お茶として飲むことで栄養を取れるが、ベータカロテンやビタミンE、不溶性食物繊維などは茶殻に残っているという。茶殻は食べられると知り、茶殻のふりかけを作ってみた。

**茶殻(出がらし)のふりかけ**

【材料】(2人分)

緑茶の茶殻 ..... 茶葉大さじ1杯分の茶殻

しょうゆ、みりん ..... 各大さじ1

ちりめんじゃこ ..... 10g

白ごま ..... 大さじ1

かつお節 ..... 約5g ※小袋2つ分ほど



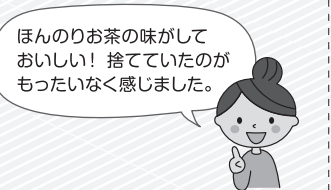
【作り方】

①茶殻をフライパンに入れて中火にかけ炒(い)る。水分が飛んだら、しょうゆ、みりん、ちりめんじゃこ、白ごまを入れてさらに炒る。

②水気がなくなったら、かつお節を入れて、さっと混ぜたら出来上がり。

※好みに、刻んだ梅干しなどを入れてアレンジしてもOK!

※茎が多い茶葉は避ける。



**スタッフ日記**

今回「おじゃましーす」の取材で、勝山市グラウンド・ゴルフ協会の練習におじゃましたのだが、平均年齢74歳とは思えない皆さんの元気なプレーに尊敬の念を抱いた。天気が悪くない限り毎朝練習していることや、長く続けている人が多いことにもびっくり。好きなことに打ち込んでいる人、体を動かしている人は元気で笑顔がすてきた。人生の大先輩方の明るい笑顔に、元気を分けてもらった。

## 読者からのお便りコーナー

**「インターネット、こんなに便利に楽しめます」**

昔は地図を見ながら行っていた新しい行き先。今はGoogleマップを見ながら、聴きながら、どこでも行けるようになりました!(鯖江市 50代)

通信販売での買い物。以前ははがきで行っていましたが、今は全部インターネットです。在庫の有無もすぐ分かるので便利です。(福井市 60代)

私はジャワ島の出身です。パソコンを使ってジャワ島の情報をすぐに入手できます。(大野市 40代)

孫の写真を送ってもらいます。コロナ禍で会えないので大変うれしいです。動画も送られてきますよ。(鯖江市 60代)

天気予報を見るのに活用しています。いつでも、どこでも見られます。(福井市 60代)

辞書代わりに使っています。分からない単語でも、入力していくといろんなキーワードが出てきて、大概の辞書の中にあるので助かっています。(鯖江市 60代)

コロナ禍終息後、妻と行く旅行の情報集めをしています。妄想旅行サイトも楽しんでいます。(坂井市 60代)

コロナ禍のこの時代。お店などが営業しているのか調べるのもっぱら活躍しています。(福井市 50代)

ポイントをためられるアプリ、便利です。(大野市 60代)

最近のはやり言葉など、分からないことを検索する!(大野市 60代)

投稿募集

投稿して下さった皆さま、ありがとうございました。次回のテーマは「まだ間に合う?! 年内にやりたいこと」です。エピソードを添えて教えてください。※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

## 今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

**方易法** ①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業 ③現在購読の新聞名 ④地元のお薦めスポット ⑤読者からのお便りコーナー「まだ間に合う?! 年内にやりたいこと」を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。※③④は任意。

■はがき [宛て先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内 「さんぽみち読北10月号プレゼント」係

■メール osanpo@fukuiyoko-c.co.jp

■LINE さんぽみち公式アカウント ID : @O59fzwww

お友だち募集中

LINEのお友達登録はこちら

メール、LINEの場合は、氏名または本文初めに「さんぽみち読北10月号プレゼント係」と入力してください。

■ファクス 0776-28-8602

締め切りは10月25日(月)必着

※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

- A** 南条観光協会オリジナルグッズ ①手ぬぐい、②ポストカードセット、③マスキングテープセット (各1人) ※希望の商品を①～③から選んでご記入ください。 **計3人**
- B** オリオンバイク お好きなクッキー1袋 (200～280円相当)引換券 **5人**
- C** 甲楽城売店 お食事券500円分 **3人**
- D** 荒井シルク 「洗えるシルクマスク」 軽くて薄いつタイプ Mサイズ **3人**
- E** 工房オッジ コースターとしても使える 越前和紙のメモ(20枚入) **2人**